

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域連携DMO	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	群馬県渋川市・榛東村・吉岡町	
所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保 541-4	
設立時期	昭和30年1月11日	
職員数	5人	
代表者(トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	大森 隆博 (一社) 渋川伊香保温泉観光協会 会長 (株) 和心の宿オーモリ 会長	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の会長として、地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材) ※必ず記入すること	伊藤 信明 「専従」 (一社) 渋川伊香保温泉観光協会事務局 局長	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の会長 32年間勤務。観光地域マーケティングについて高い知見と能力を持つ。
各部門(例: プロモーション)の責任者(専門人材)	高橋 篤志 「専従」 (一社) 渋川伊香保温泉観光協会 主任	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会の会長 11年間勤務。国内外のプロモーションに高い能力を持つ。
各部門(例: 旅行商品の造成・販売)の責任者(専門人材)	高橋 政稔 (株) JTB国内旅行企画仕入販売部地域統括部長	JTB国内旅行企画仕入販売部として区域の旅行商品等の開発に高い能力と実績を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	群馬県観光局観光物産課(観光振興) 北群馬渋川振興局(情報発信・イベント共催) 渋川市商工観光部観光課(観光振興・観光施設整備) 企画部企画課(企画調整) 総合政策部交通政策課(地域交通調整) 榛東村産業振興課(情報提供・周遊観光) 吉岡町産業建設課(情報提供・周遊観光)	
連携する事業者名及び役割	伊香保温泉旅館協同組合(宿泊施設情報提供及び施策連携) 伊香保温泉観光振興協議会(情報提供) しづかわ商工会(イベントの共催・物産品開発) 渋川地区物産振興協会(アンテナショップ・物産品開発) 渋川広域農業活性化推進協議会(地元農産物の活用・観光農園との連携) 渋川地区観光特別宣伝協議会(DMO協議会へ移管予定) (株) JTB国内旅行企画(旅行商品開発)、(株) JTB関東法人営業群馬支店(旅行商品販売)、JR東日本(アクセス改善)、関越交通(二次交通)、群馬銀行等(金融連携)	

(別添) 様式 1

<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ② (概要) ② 協議会発足にあたり、行政や関係団体の他今まで関係が希薄であった農業関係者や製造業、地元タウン誌等とも連携して日常的な調整を実務者レベルで行う幹事会、コアメンバー会議を設置する。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>受入体制部会に旅館組合・商工会婦人部・観光ボランティアガイドの会「遊友」の方々に参画いただき、当該DMO地区内の各自治会・地域住民等にも参画いただき情報を意識啓発・参画促進する。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) 伊香保温泉観光協会として設立以来、行政と一体となり群馬県代表的な温泉地の観光誘客に努めてきた。平成 18 年 2 月に伊香保町をはじめとする 5 町村が渋川市と合併したことに伴い、組織を(一社)渋川伊香保温泉観光協会とし、伊香保温泉を核とする周辺観光資源を活用した広域観光振興に取り組んでいる。 また、観光客の利便性向上のため、無料 WIFI の導入や SNS を活用した情報発信にも積極的に取り組んでいる。 明治時代にハワイ王国公使別邸が伊香保温泉にあったことから、ハワイアンフェスティバルを開催しており、一大イベントとなっている。その他、年間を通して様々なイベントを主催している また、伊香保温泉沿線に点在する 8 つの観光施設と連携し施設を巡る周遊フリー乗車券等を発行する等、周辺との連携も推進している。 (定量的な評価) 主催する主なイベントの集客数 ・ハワイアンフェスティバル 3 万 8 千人、 ・河鹿橋紅葉ライトアップ 3～4 万人 ・石段ひなまつり 3 千人</p>
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要) (一社)渋川伊香保温泉観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど国民が密接に連携した運営を実施する。 (実施体制図)</p>

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

※ 渋川市・榛東村・吉岡町



【区域設定の考え方】

H24年から、区域を構成する地方公共団体で観光特別宣伝協議会を設置しており顧客視点に立ち都内をはじめとする観光キャラバン、SNSによる情報発信、周遊マップの作成イベント企画など連携した取組を実施している。

渋川市の観光入込客数、観光客消費額は、いずれも県内トップクラスであり、観光客消費額に占める宿泊の割合は約7割と高くなっている。

一方榛東村・吉岡町は日帰り観光客がほとんどであり100万人を超える伊香保温泉宿泊観光客の消費をどう取り込むかが、観光消費額を増加させるための課題となっている。

また渋川市においては他の2町村に比較し人口減少のスピードが速く、消滅可能都市に位置づけられており交流人口増加のため、伊香保温泉をはじめとした観光資源の魅力をさらに磨き上げるとともに地域が誇る豊かな地域資源の活用や広域連携、海外を視野に入れたプロモーションの強化、様々な関係機関・団体等の連携により魅力ある観光地づくり推進することが急務となっている。

【観光客の実態等】

伊香保温泉の宿泊客数

このところ100万人前後で推移している。外国人観光客は年々増加している。(単位 人)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
伊香保温泉宿泊客数	989,032	1,047,994	1,033,644	1,037,878	1,090,697
うち外国人数	1,129	3,371	6,221	6,328	7,728

渋川市観光消費額

(単位 千円)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
観光消費額	20,433,739	20,408,577	19,825,263	19,418,208	20,062,641
うち日帰り客	6,900,579	6,669,803	6,233,784	5,819,576	5,728,280
宿泊客	13,533,160	13,768,774	13,591,479	13,598,632	14,334,361

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

1 観光施設

○伊香保温泉（旅館や温泉関連施設）を中心に、美術館・遊園地・観光牧場等観光施設が点在。日本シャンソン館、群馬ガラス工芸美術館、伊香保グリーン牧場、徳富蘆花記念文学館、伊香保保科美術館、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館、渋川スカイランドパーク、ハラミュージアムアーク、伊香保切り絵美術館、竹久夢二伊香保記念館、ハワイ王国公使別邸、榛東村耳飾り館、卯三郎こけし、切り絵緑の美術館、おもちゃと人形自動車博物館等々
○榛名・赤城山麓に、ぶどうやりんご、ブルーベリー、いちご等の観光農園が点在し、年間を通してフルーツ狩りが楽しめるほか、「しんとうワイナリー」では製造工程の見学や試飲をすることができる。

2 商業施設

渋川伊香保の様々な土産をそろえた店舗が多く、渋川駅前には「しぶかわ名産品センター（しぶさん）」が設置されている。また、旧市町村地域毎に特徴ある農産物直売所が整備され、全国有数の生産を誇る「こんにやく」などの特産品が販売されているほか、道の駅も3カ所整備されている。更に駒寄インターチェンジ周辺には都内には少ない大型店舗が集積し、観光客の立ち寄りも見られる。

3 自然

紅葉の名所河鹿橋をはじめ、ツツジの名所、豊かな自然を堪能できる森林公園や、トレッキングに最適な山々を有している
上ノ山公園、伊香保森林公園や水沢山、二ツ岳等榛名山の山々、子持山、小野子山、船尾滝等トレッキングの適地に恵まれている。榛名湖の釣りやボートなども近くにあり、アウトドアスポーツも楽しめるが、他の地域等に比べ、PRが不足している状況。

4 文化

- ・近隣の歴史ある寺院（伊香保神社、水沢寺(水沢観世音)、榛名神社等パワースポットとしても有名)
- ・古代遺跡：日本のポンペイと言われ二ツ岳の噴火により埋まった古墳時代の遺跡が点在している。最近では金井東裏遺跡の甲着装人骨等、東国文化を伝える貴重な発掘が相次いでいる。
- ・赤城地区上三原田の農村歌舞伎等の文化も有名
- ・日本3大うどんに数えられる「水沢うどん」、郷土料理「上州おっきりこみ」等の食文化
- ・近代こけしの工房が多く、生産量は日本の7割をほこる。創作こけしの「現代の名工」3人が渋川地域に集住しているほか、こけしの絵付け体験や博物館を兼ねる卯三郎こけし等の施設がある。

5 スポーツ

渋川市は旧市町村単位に総合運動場や体育館を有し、1市民1スポーツを掲げ、スポーツの振興に取り組むとともに、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致にも熱心である。

- ・前橋・渋川シティマラソン、日本のまんなか渋川駅伝大会、黒井峯遺跡マラソン等を開催

6 イベント

日本のまんなか渋川へそ祭り、ハワイアンフェスティバル、伊香保まつり、渋川山車祭り（隔年）

石段ひなまつり、白井宿八重桜まつり（武者行列）

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

伊香保温泉：47施設 客室数 1862室 収容力 10,000人

(別添) 様式 1

<p>渋川市内ビジネスホテル旅館等：13 施設 榛東村 民宿 1 吉岡町 2 (うち民宿 1) 【利便性：区域までの交通、域内交通】 首都圏から約 100km 強、 ○車によるアクセス 関越自動車道で約 1 時間 10 分、渋川インターチェンジから 20 分 ○鉄道及びバスによるアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 高崎まで新幹線で 1 時間弱、高崎から J R 吾妻線、上越線で渋川駅下車 (30 分) 渋川駅から伊香保行き路線バスで 30 分 ・ 新宿駅から直行バスも運行されている。 ・ J R 高崎駅からも路線バスが運行されている。 <p>・ 伊香保タウンバスを運行。温泉街から周辺の観光ポイントを結び伊香保の散策をサポート。 【外国人観光客への対応】 渋川伊香保温泉観光協会HPにおける英語、ハングル、簡体字、繁体字対応。 4 言語パンフレットを作成している。 伊香保ビジターセンターでの英語対応可能。 伊香保温泉旅館では無料 WIFI のサービスを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水沢寺 (水沢観世音) の近くに建設中の台湾を本山とする臨濟宗仏光山法水寺が 29 年 10 月に公開し来春開山され台湾観光客の増加が予想される。
--

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
延べ宿泊客数 (KPI)	従来から継続して収集してきた基礎データであり、今後の観光振興の方針決定に資する重要指数	宿泊施設からの報告
外国人宿泊客数 (KPI)	同上	同上
渋川市観光消費額 (KPI)	同上 経済効果測定のため	渋川市観光課・群馬県
来訪者満足度	リピーター率の上昇や、紹介による顧客増加を見込むことができる。	独自パンフレット「伊香保旅の手帳」のアンケート評価を活用
リピーター率	滞在型観光地を目指す顧客獲得戦略指数。	旅館への聞き取り及び各種アンケート調査
宿泊施設の稼働率	宿泊者の増加を図るため	旅館からの報告
メディア掲載回数	宿泊者の増加と知名度向上を図るため。	協会にて実績把握
榛東村観光バスツアー参加者	周遊観光の指数。	行政から収集
吉岡町道の駅年間利用者数	交流人口の指数。	行政から収集
地域経済分析システムによる観光マップ From-To 分析等	誘客プロモーション等の参考にしていく。	地域経済分析システム
WEBサイトのアクセス状況	顧客の求めている情報を把握するため。	GoogleAnalytics

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からのアクセスの良さ ・石段街を中心とした風情ある温泉地 ・自然環境 (紅葉の名所) ・周辺観光施設の豊富さ ・フルーツ狩りのできる環境 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り可能な観光地と化している。 ・2次交通が脆弱 ・石段街の魅力不足 (石段自体が高齢者には不便) ・人材不足のためのおもてなし低下
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の増加 ・温泉好きな若者の増加 ・トレッキング等の普及 ・台湾を本山とする臨済宗の法水寺が29年秋に公開 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による観光客の減少と、雇用環境の悪化 ・家族旅行の減少とお一人様の増加 (客室稼働率は高いが宿泊客数は減少) ・企業の行うインセンティブ旅行の減少 ・食後の時間を楽しむ場所が不足

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 仕事や家事のストレスを「おもてなしと非日常」の温泉旅行で発散し、疲れを取りたい世代 (20代後半から50代の男女)</p>
<p>○選定の理由、 伊香保温泉は、主に首都圏 (東京・埼玉) からの宿泊客多く、日常のストレスを温泉で癒やし、気晴らしをするような温泉地として利用されている。今後も、「近くにある特別な癒やしの場」として認識してもらい、いつでも気兼ねなく利用できる温泉地であり続けるとともに、リピーター率を増加させる。</p> <p>○取組方針 ストレスの多い日常から逃れ、自然や温泉で癒やされ、ストレスを解消したいという欲求は今後も高まって行くと考えられる。その欲求に全力で応えられる観光地を目指す。</p> <p>【宿泊施設】 自然環境や温泉、そして係員や女将の何気ないおもてなしが、「本来の自分の場所に戻ってきた」感を与え、「休日」を満喫できる。湯治場と知られた伊香保温泉本来の温泉浴効果を発揮できるプログラムを用意する。(人材育成強化・ヘルスツーリズム)</p> <p>【観光施設】 様々な「非日常」の楽しい体験や感動によるリフレッシュをはかれるよう「大人」のプログラムを充実していく。</p> <p>【その他】 自然を活かしたトレッキングや特産のフルーツ・こんにゃくを活用した癒やし系デザート開発などにも関係者と協議しながら取り組んでいく。 新幹線の止まる高崎駅とのアクセスを改良するため、高崎駅・伊香保温泉間の主要観</p>

(別添) 様式 1

光地を繋ぐ急行バス等の運行を推進する。	
○第2ターゲット層 小学生以下の子どもを中心とするファミリー層	
○選定の理由 首都圏在住者を対象に、思い立ったらすぐ行ける近くのリゾートとして認識してもらい、週末や短期間の休みを活用して旅行するファミリー層を更に取り込んでいく。	
○取組方針 子どもが乗り物に飽きる前に到着できる点をアピールし、観光地宿泊と観光施設をセットとした着地型商品の開発等を進める。	
【宿泊施設】 家族連れを対象とするサービスを充実していく。	
【観光施設】 観光施設や伊香保温泉石段街の魅力を高め、リゾートとして認識してもらえるおしゃれな雰囲気演出、子どもから若い夫婦層まで楽しめるマルシェの設置を進める。 それにより、SNSでの露出頻度を高め首都圏からだけでなく遠方からの集客を狙う。	
○第3ターゲット層 台湾を中心とした東南アジアの温泉体験をしたいリピーター	
○選定の理由 他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が多く、また近隣の仏光山法水寺の参拝者も予想されることから、市場としても今後拡大傾向にある。	
○取組方針 日本での観光を東京のビジネスホテルに宿泊するのではなく、伊香保温泉での旅館泊を選んでもらい、日本式観光を堪能してもらうことを目指す。 夕食後も楽しんでもらえるよう石段街の活性化に取り組む。 伊香保発の東京観光、日光観光等の商品開発を推進する。 看板表示の多言語化、湯浴み着を着て入れる温泉設置等に取り組む。 観光客発信の自国向けSNSで露出頻度を増やし、多くの集客を狙う。	

(3) コンセプト

①コンセプト	～思い立ったら伊香保温泉～ 頼りにされる奥座敷をめざして
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏に近い利点を思い切り活用し、週末はもちろん平日でも気軽に「我が家」のように訪れ、リフレッシュできる温泉リゾートとして認識してもらえる観光地を目指す。 ・また、四季折々の自然と豊かな温泉の中でホッとでき「自分を取り戻せる場所」「新たな構想を練る場所」「思索にふける場所」等として、いくらでも飽きずに滞在できる、奥座敷とされる温泉観光地の中でも選ばれる「頼りにされる」観光地を目指す。 ・外国人向けには伊香保温泉に連泊して東京観光や日光等への観光ができ、日本情緒が味わえる国際的な宿泊地として評価を高めていく。そのため、(一社) 渋川伊香保温泉観光協会

(別添) 様式 1

	の窓口をカテゴリⅡ以上のJNT0認定外国人観光案内所としていく。
--	----------------------------------

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMO協議会を中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を設けるとともに、関連事業者に対しての情報共有やコンサルティング等を実施。2ヶ月に1回開催
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係るマーケティング調査やビッグデータを活用した市場動向調査の結果を各施設・店舗等へフィードバックし、サービス向上や苦情対応についての研修等も実施。
一元的な情報発信・プロモーション	検案件数の多い渋川伊香保温泉協会を中心にSNS等を活用した効果的な一元的プロモーションを実施するとともに、同協会の宣伝力を活用し、魅力的なコンテンツの作成や、イベントやプロモーション・キャラバンなども連携して効果的に実施する。またHPをスマホ対応化。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

(括弧内は外国人に関するもの)

指標項目	単位	26年 (度)	27年 (度)	28年 (度)	29年 (度)	30年 (度)	31年 (度)
● 渋川市 旅行消費額	百万円	19,902	20,063	20,107	22,489	23,683	24,825
● 3市町村消費 額	百万円		20,734	20,657	23,089	24,283	25,425
● 延べ宿泊者数	人	1,056,401 (6,328)	1,094,216 (7,728)	1,040,598 (10,883)	1,200,000 (14,550)	1,300,000 (18,350)	1,400,000 (21,900)
● 3市町村延べ 宿泊者数	人	1,187,268 (6,374)	1,226,307 (8,030)	1,161,443 (10,877)	1,300,000 (15,000)	1,400,000 (23,000)	1,500,000 (28,000)
● 来訪者満足度	%			75	77	78	80
● 3市町村来訪 者満足度	%			70	72	74	76
● リピーター率	%			30	39	40	40
● 3市町村リピ ーター率	%			28	30	32	34

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

(別添) 様式 1

【検討の経緯】

渋川市第2次観光基本計画ではH28の数値からH34年度にはの目標値のみで各年度の具体的な数値が設定されていないため、当該DMO協議会において観光基本計画と照らし合わせ、H34年度の目標値達成を目指し、榛東村・吉岡町も観光バスツアーや道の駅年間利用者数のH31年度の目標値達成に向け、事業・取組を推進していくうえで、コアメンバーによる戦略会議を経て理事会にて数値設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

総宿泊者数・日帰り観光客数を含め一人あたりの消費概算値にて平成31年度に全体で254億円を達成するために約年1.05%の伸び率で数値設定する。

●延べ宿泊者数

連泊いただく事、インバウンドの促進強化。(各旅館からの月次報告と今後の予約数)平成31年度に全体で150万人を達成するために約年10%の伸び率で数値設定する。

●来訪者満足度

おもてなし等受入体制の更なる充実。(各種アンケート調査)平成31年度に全体で76%を達成するために約年3%の伸び率で数値設定する。

●リピーター率

宿泊先旅館からの聞き取り調査、アンケート調査を基に数値設定。個人客を対象にした体験プログラム等を広域的に造成。平成31年度に全体で34%を達成するために約年7%の伸び率で数値設定する。

(2) その他の目標

指標項目	単位	26年(度)	27年(度)	28年(度)	29年(度)	30年(度)	31年(度)	
●宿泊施設の稼働率	%			60	63	64	65	
●メディア掲載回数	回		122	113	130	135	140	
●榛東村観光バスツアー参加者	人	—	5年間で150人を達成する					
●吉岡町道の駅年間利用者数	人	延 431,000	5年間で徐々に増加させ9000人増を達成する					延 440,000

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

【検討の経緯】

当協会理事会及び協議会コアメンバー会議において、数値設定する。

【設定にあたっての考え方】

●宿泊施設の稼働率

団体客減少に伴い、宿泊者を増やすために稼働率を設定、泊食分離も視野に。毎月旅館からの宿泊者数報告書内の各旅館稼働率の記載により算出し、外国人旅行者数の増加(1~5%)を見込む。

●メディア掲載回数

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS等に露出することにより来訪したくなる気運を高めるため、フィルムコミッション等の更なる活用。当協会にて実績を集計し、インバウンド対象国に積極的にPRを行い掲載回数の増加(4~15%)を見込む。

●榛東村観光バスツアー参加者

地域連携のためリピーター確保や観光消費額等の根拠となるため。行政で集計。

●吉岡町道の駅年間利用者数

地域連携のためリピーター確保や観光消費額等の根拠となるため。行政で集計。利用者の動向等。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
26年度	93,622,530 (円)	【県市町村からの補助金】 60,900,000 (円) 【会費収入】 10,414,781 (円) 【収益事業収入】 22,307,749 (円)
27年度	91,788,639 (円)	【県市町村からの補助金】 58,243,089 (円) 【会費収入】 9,667,632 (円) 【収益事業収入】 23,877,918 (円)
28年度	93,539,512 (円)	【県市町村からの補助金】 51,349,659 (円) 【会費収入】 9,741,108 (円) 【収益事業収入】 32,448,745 (円)
29年度	95,300,000 (円)	【県市町村からの補助金】 53,000,000 (円) 【会費収入】 9,300,000 (円) 【収益事業収入】 33,000,000 (円)
30年度	95,200,000 (円)	【県市町村からの補助金】 53,000,000 (円) 【会費収入】 9,200,000 (円) 【収益事業収入】 33,000,000 (円)
31年度	95,000,000 (円)	【県市町村からの補助金】 53,000,000 (円) 【会費収入】 9,000,000 (円) 【収益事業収入】 33,000,000 (円)

(2) 支出

年度	総支出	内訳
26年度	93,622,530 (円)	【一般管理費】 25,652,530 (円) 【国内外プロモーション】 23,270,000 (円) 【観光イベントの開催費】 23,700,000 (円) 【露天風呂管理費】 21,000,000 (円)
27年度	91,788,639 (円)	【一般管理費】 26,290,049 (円) 【国内外プロモーション】 23,700,000 (円) 【観光イベントの開催費】 20,643,089 (円) 【露天風呂管理費】 21,155,501 (円)
28年度	93,126,089 (円)	【一般管理費】 33,580,087 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,449,659 (円) 【露天風呂管理費】 22,096,343 (円)
29年度	94,100,000 (円)	【一般管理費】 26,000,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,900,000 (円) 【観光イベントの開催費】 18,900,000 (円) 【露天風呂管理費】 21,000,000 (円)
30年度	94,500,000 (円)	【一般管理費】 34,000,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 洪川市指定管理事業受託 あれば変更予定 </div>	
31年度	95,000,000 (円)	【一般管理費】 34,500,000 (円) 【国内外プロモーション】 18,000,000 (円) 【観光イベントの開催費】 19,500,000 (円) 【露天風呂管理費】 23,000,000 (円)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 洪川市指定管理事業受託 あれば変更予定 </div>	

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 設立当初は、現在の協会予算（地方公共団体の補助金を含む）により、各種プロモーションやイベント開催等による誘客対策を中心に活動しDMOとして運営するとともに、露天風呂の計画的な修繕により、事業収入の増加を図る。
- マーケティング調査に基づく効果的なプロモーション活動を連携して実施し効率的な集客に努めるとともに、交通アクセスの改善をはじめとし、地元交通事業者、観光施設と連携した着地型旅行商品の造成、販売を行う。
 - 平成29年11月1日よりインバウンド対策として成田空港から伊香保温泉（法水寺）までの高速バス（アザレア号）が1日1便運行開始。
 - (例) マイクロバスやタクシー等を活用した着地型ツアーの企画販売
 - ・伊香保発2時間コース 美術館とフルーツ狩りツアー
 - ・半日コース 体験ツアー おもちゃと人形自動車博物館→卯三郎こけし→耳飾り館
スピリチュアルツアー 榛名湖 → 榛名神社等
歴史ツアー 黒井峯遺跡→金井東裏遺跡→埋蔵文化財事業団展示室等
- イベント出展者へのテントや簡易な物品の貸し出しを行う。
- 観光施設の前売り券の取り扱いを進める。
- 会員のHPや動画コンテンツの作成等を受託できるノウハウを蓄積していく。
- ふるさと納税の使途に観光資源（施設）の開発などを加えてもらえるよう渋川市と協議し、その財源をDMOのマーケティングに基づいた施設整備や地域マネジメントの推進に活用できるようにしていく。
- また、DMO組織が構築出来、32年度以降に渋川市直営施設（駐車場・ロープウェー・石段の湯等）の指定管理受託を検討していく。
- 人材育成においては、マンパワー強化のため新年度に地域おこし協力隊を申請。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

渋川市、榛東村、吉岡町は、一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会を当該市町村における地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	伊藤 信明
担当部署名 (役職)	(一社) 渋川伊香保温泉観光協会事務局長
所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保 541-4
電話番号 (直通)	0297-72-3151
FAX 番号	0279-72-4452
E-mail	n-ito@po.wind.ne.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	群馬県
担当者氏名	今井 英明
担当部署名 (役職)	北群馬渋川振興局係長
所在地	渋川市金井395
電話番号 (直通)	0279-22-0777
FAX 番号	0279-23-8221
E-mail	Katsumi-y@pref.gunma.lg.jp

都道府県・市町村名	渋川市
担当者氏名	金井 裕昭
担当部署名 (役職)	商工観光部観光課長
所在地	群馬県渋川市石原80
電話番号 (直通)	0279-22-2873
FAX 番号	0279-22-2132
E-mail	Nakazawa-hi@city.shibukawa.lg.jp

都道府県・市町村名	榛東村
担当者氏名	青木 繁
担当部署名 (役職)	産業振興課長
所在地	群馬県北群馬郡榛東村新井790-1
電話番号 (直通)	0279-54-2211 (代)
FAX 番号	0279-54-8225
E-mail	

都道府県・市町村名	吉岡町
担当者氏名	高田 栄二
担当部署名 (役職)	産業建設課長
所在地	群馬県北群馬郡吉岡町下野田560
電話番号 (直通)	0279-54-3111 (代)
FAX 番号	0279-54-8681
E-mail	takada@town.yoshioka.gunma.jp

伊香保版DMO

候補法人：一般社団法人 渋川伊香保温泉観光協会

渋川北群馬DMO協議会

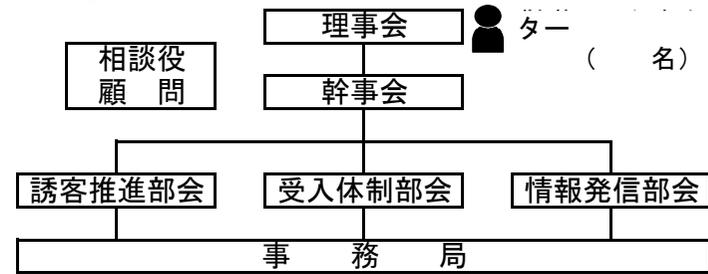
[目的] 多様な観光関係者と協議しながら、**観光地域づくり**を実現するため、データ分析に基づいた明確なコンセプトの設定と観光戦略の策定

戦略立案業務に特化

[業務]

- ◆ マーケティング分析
- ◆ CRM等による情報の発信とデータ収集・分析
- ◆ 観光誘客戦略の策定
- ◆ 指定管理施設の受託

[体制]



参画(会員)

旅館
ホテル

飲食店

物産店

交通事業者

農業者

その他
関連事業者

渋川市
榛東村
吉岡町

政策連携
事業支援

事業支援

事業連携

登録区分名:地域連携DMO

【区域】群馬県、渋川市、榛東村、吉岡町

【設立時期】昭和30年1月11日

【代表者】大森隆博

【マーケティング責任者】伊藤信明

【職員数】5人

【連携する主な事業者】

- ・伊香保温泉旅館協同組合
- ・伊香保温泉観光振興協議会
- ・しぶかわ商工会・渋川地区物産振興協会
- ・渋川広域農業活性化推進協議会
- ・渋川地区観光特別宣伝協議会(情報発信等)
- ・JTB関東・JR東日本・関東交通
- ・地元金融機関(群馬銀行)等

【実施体制図】



(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
旅行消費額(百万円)	19,902	20,734	20,657	23,089	24,283	25,425
延べ宿泊者数(人)	1,187,268 (6,374)	1,226,307 (8,030)	1,161,443 (10,887)	1,300,000 (15,000)	1,400,000 (23,000)	1,500,000 (28,000)
来訪者満足度(%)			70	72	74	76
リピーター率(%)			28	30	32	34

伊香保温泉の取組

旅館・ホテルの経営力強化と魅力向上

マーケティング調査の結果を活用し、個々の温泉旅館・ホテル等の経営力向上に資するとともに、生産性の高い現場をどのように設計していくか等、経営革新に向けた実践的なノウハウや知識を習得するための研修等を実施する。収益性の高い体質へと改善。また増加する外国人への受け入れにもしっかりと取り組み、国際的に評価の高い滞在型観光地を目指す。

温泉街の魅力向上

石段街の活性化(灯プロジェクト)を中心とした、温泉街全体の魅力向上を推進するため、夜市等のイベントにも取り組んでいく。

観光施設等の取組

観光施設の魅力向上

マーケティング調査の結果を活用し、お客様のニーズ等に合わせたサービス品質の向上・収益力の強化等に努めるとともに、新たな魅力の創造に取り組む。また、伊香保温泉の知名度を活かしたプロモーションを展開する。

DMOとしての連携を強め観光施設同士の連携も進め、スタンプラリーや着地型の観光施設巡りなど、魅力ある新たな価値の創出にも取り組む。

自然・歴史・文化に関する取組

自然・歴史・文化体験

豊かな自然を活かした新たな観光開発にチャレンジしていく。人気のトレッキングや、サイクリング、榛名湖のボートやカヌー、利根川での釣り等、自然を満喫する旅行商品の開発を行う。また古代史ファン向けの着地型ツアーやガイドや、社寺等のパワースポットツアー、地域の祭りへの参加体験・見学ツアーなど、新たな観光商品開発に取り組む。

観光農園・農産物・特産品の取組

農産物・特産品の魅力発信

マーケティング調査の結果を活用し、お客様のニーズ等に合わせた品揃え・品質の向上・生産性の向上・新たな特産品の生産等に取り組む。地元農産物を活用した食事の提供を進めるため、渋川広域農業活性化推進協議会の活動を強化する。着地型観光による、観光農園や酒蔵等の立ち寄りを推進する。また伊香保温泉の知名度を活かしたプロモーションを展開するほか、伊香保温泉におけるイベントに積極的に参加して、観光客のニーズを把握し、新たな特産品を創造していく。外国人向け近代こけし販売を強化する。

